

がつ にち ようび なまえ

＊いえでとりくんだことをいかして、もっとできることをかंगाえて
とりくんでみましょう。

1 やりたい ことを きめよう

まえにとりくんだことをいかして、もっとできることを
かきましょう。かいたら、いえの ひとに みてもらいましょう。

(いつ)
(なにを)
(どのように)
(りゆう)
(ひとこと)

2 やりたい ことに とりくもう

とりくんでいることを ことばや えで かきましょう。

--

3 とりくんだ ことを ふりかえろう

やりたい ことに とりくんで おもったこと、
して みたい ことなどを かきましょう。

＜おうちの方へ＞ お子さんは「自分にできることを！」と意欲をもって取り組み始め、実際に続けてやってみて分かったことがあったことと思います。
学習では自分の取り組みを振り返り、成果や課題などに気付くことによって、「今度は！」とさらに前進する姿が期待されています。
「おうちの人のために」とがんばるお子さんに、「だんだん慣れてきたね」「その調子」とほめたり、「〇〇してくれて助かるよ」「ありがとう」など、ねぎらいの言葉をかけてあげたりしましょう。